

# 学級活動指導案（キャリア教育）

平成27年10月20日（火） 第5校時  
指導者

1 題材名 きらきら見つけた 学級活動（2） 望ましい人間関係の形成

## 2 題材設定の理由

### （1）題材について

今日の子供に見られる問題行動として、いじめ、不登校、などが指摘されている。これらの遠因として、家庭や地域社会などにおける子供の人間関係の希薄化に伴う対人関係の在り方の未熟さが考えられる。このような問題を解消し、一人一人の児童の健全育成を図るためには、様々な人間関係を体験させることが必要である。

学校生活においても、教師と児童、児童相互の間に信頼・尊敬・信愛・協力など、温かい人間関係が育成されなければ問題行動が発生してくると考えられる。そのため、日頃から一人一人の児童と密接な人間関係を保ち、望ましい人間関係を築く態度の形成に努める必要がある。学級活動の中で具体的な指導内容としては、友達と仲良くする、男女での協力、互いのよさの発見する、違いを認め合う、良い言葉や悪い言葉を考える。その際、「望ましい人間関係の形成」を意識しながら学習を進めていきたい。

### （2）児童の実態

本学級の児童は明るく元気で、男女の仲もよい。困っている友達に声をかけたり助けたりする姿が多くみられる。休み時間は外に出て遊ぶことが好きで特に、鬼遊びが好きである。最近は作戦をたてて工夫した遊びを楽しんでいる。

本時では、よかったところや頑張ったところを言葉だけでなく文章に書き、その時だけで終わらないようにいつでも振り返ることができるようにしていきたい。また、友達のよいところを見つけられた自分にもよいところがあり、自分自身もきらきらしていることを感じ取りながら、人間関係形成・社会形成能力と自己管理・自己理解能力を高めていきたい。そして、生活科の単元「自分はっけん」を学習するときには、人間関係形成・社会形成能力と自己理解能力だけでなく課題対応能力も高まってくるのではないかと考える。

### 3 キャリア教育の視点を取り入れた指導

学習指導要領解説特別活動編の「第2章特別活動の目標 第1節の1特別活動の目標」には、(1)として「望ましい集団活動の展開と望ましい集団の育成」で人間関係の形成、(3)として「社会的な資質の育成」で社会性の育成、(5)として「自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う」で自己の生き方についての認識を深めることが明記されている。

また、同章第2節4(4)には、「特別活動は、望ましい勤労観・職業観を育成したり、児童が自ら現在および将来の生き方を考えることができるようにしたりするなど、キャリア教育としての役割も有している。」と記されている。特別活動の重点としては、よりよい人間関係を築く力、集団の一員としてよりよい生活づくりに参画する態度の育成を特に重視し、それらにかかわる力を実践を通して高めるための体験活動や生活を改善する話し合い活動、多様な異年齢集団による活動を一層充実することが挙げられている。集団活動を通して、キャリア教育で求める能力と考えている、人間関係を形成する能力や自分で意思決定する能力を育成することが期待される。学級活動は、話し合い活動を通して人間関係を形成したり、様々な意見を基に適切に判断して他者とのかかわりを考えながら意思決定したりする能力を養う場であると考えられる。

特別活動の目標を受けて、キャリア教育で育成すべき力を、本授業の中で二つの力を取り入れながら進めていきたい。

ひとつ目は、「人間関係形成・社会形成能力」は、社会とのかかわりの中で生活していく上で、基礎となる能力である。人や社会とのかかわりは、自分に必要な知識や技能、能力、態度を気付かせてくれるもので、自らを育成する上でも影響を与えるものである。

ふたつ目は、「自己管理・自己管理能力」は、自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力である。この能力は、子供や若者の自信や自己肯定感の低さが指摘する中、「やればできる」と考えて行動できる力である。これは、キャリア形成や人間関係形成における基盤となり、自己理解能力は、生涯にわたり多様なキャリアを形成する過程で常に深めていく必要がある。

この二つの能力を育成することにより、友達のよいところを伝えることで、今まで気付かなかった友達のよいところ、自分には足りないもの、これから必要とするものにも気付いていけるだろうと思う。そして、よいところを伝え合うことで自己肯定感を高め、自分への自信へつながって様々なことに対して前向きに取り組んでいけると考える。

### 4 評価基準

- ・めあてに関心を持ち、真剣に取り組もうとする。(関心・意欲・態度)
- ・友達のよいところを認め、カードに書くことができる。(思考・判断・実践)(技能・表現)
- ・カードの書き方を理解し、わかりやすく具体的に書くことができる。(知識・理解)

5 本時の指導

(1) 本時の目標 (◎教科等 ☆キャリア教育)

◎友達が係や当番活動で頑張っていることや生活の様子を認め、カードに書くことができる。

【思考・判断・実践】

☆友達のよいところを見つけて、認め合ったり励まし合ったりすることができる。

【人間関係形成・社会形成能力】

学習活動	指導や支援の手立て 評価 (◎教科 ☆キャリア教育の視点)
<p>1 国語の「うれくなる言葉」の学習を想起し、どんな内容だったかを話し合う。</p>	<p>◎数名を指名し、どの言葉もうれしかったことを認め意欲を高める。</p>
<p>友だちのきらきらがやく、すてきなところを見つけよう。</p>	
<p>2 どんなところに目をつければよいのかを考えながら、グループの人数分を「きらきら」カードに書く。</p> <p>〈係活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートを間違えずに配る。</li> <li>・給食の配膳台や机をきれいに拭いている。</li> <li>・けがをした友達に優しく声をかけて、保健室に連れて行ってあげた。</li> </ul> <p>〈生活〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰にも優しい。</li> <li>・掃除を一生懸命やっている。</li> <li>・いつも仲間に入れてくれる。</li> <li>・元気な返事ができる。</li> <li>・困っているときに声をかけてくれる。</li> <li>・給食を残さない。</li> </ul>	<p>◎係活動だけでなく日常の生活にも目を向けて考えるように声をかける。</p> <p>◎一日を通し、グループの友達とかかわることが多いので、なかなか思いつかなかったり書けなかったりする児童には、「〇〇さんは、〇〇係でこんな仕事をしているよね。教科書を忘れると見せてくれるよね。どんなところが素敵？」などと個別に声をかける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◎友達のよいところや頑張っているところを見つけ、わかりやすくカードに書いている。</p> <p>【思考・判断・実践】</p> </div> <p>◎友達の素敵などところを見つけられた児童には、どのように伝えれば相手に気持ちが伝わるかを考えさせる。</p> <p>◎読むときには、相手の目を見ながら心をこめて読み、読んでから相手にカードを渡すように声をかける。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>☆友達のよいところを認め、励まし合っている。</p> <p>【人間関係形成・社会形成能力】</p> </div> <p>◎友達のよいところを見つけられた自分自身が、成長している素敵などところであることに気付かせる。</p>
<p>3 お互いに向かい合い、「きらきら」カードを読みあう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・うれしいな。</li> <li>・これからもがんばろう。</li> <li>・もっと友達のきらきらを見つけよう。</li> </ul>	<p>◎次の目標やめあてを書いた児童は、発表し、今後の「きらきら」カードを継続して書くときに言葉かけをする。</p> <p>◎これからの自分について考える。</p>
<p>4 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りカードに記入する。</li> <li>・書いた振り返りを発表する。</li> </ul>	

# ふりかえりましょう

名前 \_\_\_\_\_

友だちのよいところを見つけることができましたか。	
くわしくする言ばをつかってカードに書くことができましたか。	
自分のよいところを知ることができましたか。	

◎・・・よくできた

○・・・できた

△・・・できなかった

☆